
「東アジアにおける文化に媒介された環境問題」(仮題)

Culturally Mediated Environmental Issues in East Asia (working title)

2016年7月30日[土], 31日[日]

場所:名古屋大学文系総合館7階 カンファランスホール

主催:名古屋大学大学院文学研究科附属「アジアの中の日本文化」研究センター
浙江大学

後援:ハーバード・イェンチン研究所

言語:日本語-英語(同時通訳)

このシンポジウムでは、学術研究、芸術、メディアから日々の生活に至るまでの広い範囲にわたる人間の営みを文化と捉え、それが地球温暖化、空気汚染、ゴミ処理、食品添加物や遺伝子組み換え食品、放射能汚染などの環境問題に対してどのような役割を果たしてきたのか、今後どのような役割を果たしうることについて議論します。登壇者として、カレン・ソーンバー氏(ハーバード大学)、キウワイ・チュウ氏(香港大学)、結城正美氏(金沢大学)、サイモン・アヴェネル氏(オーストラリア国立大学)、ユン・スンジン氏(ソウル国立大学)など、この問題に関して世界で最先端の研究を行っている研究者をお迎えします。詳細は後日、センターのウェブサイト(<http://www.lit.nagoya-u.ac.jp/overview/centers/jacrc/>)にアップロードされます。